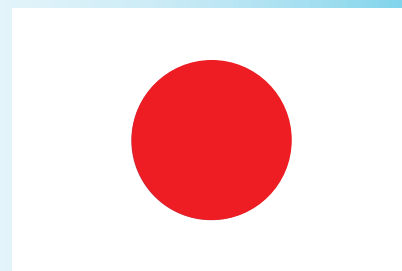


まめまきよう おにのおめん

せつぶんは にほんのふうしゅうです。

むかし、おてらでおこなっていたまめうちのぎしきがつたわったもので、まめをまくことでふあんなきもちをなくして、いちねんかんびょうきをせずにしあわせにくらせることをねがういみがあります。まめをまき、まかれたまめをじぶんのかぞえどしただけたべると、からだがじょうぶになるといわれています。



日本

かけごえ：おには～そと ふくは～うち
まめ：いっただいず や からつきピーナッツ

節分に豆で邪鬼をはらう行事が初めて行われたのは、室町時代の京都で、「看聞(かんもん)日記」の1425年(応永32)の記録に記されています。また、定番のかけ声の「鬼は外、福は内」は、「臥雲日件録」1447年(文安4)に、立春前夜に家ごとに豆をまき、「鬼は外、福は内」ととなえたと記されています。

豆まき用おめん

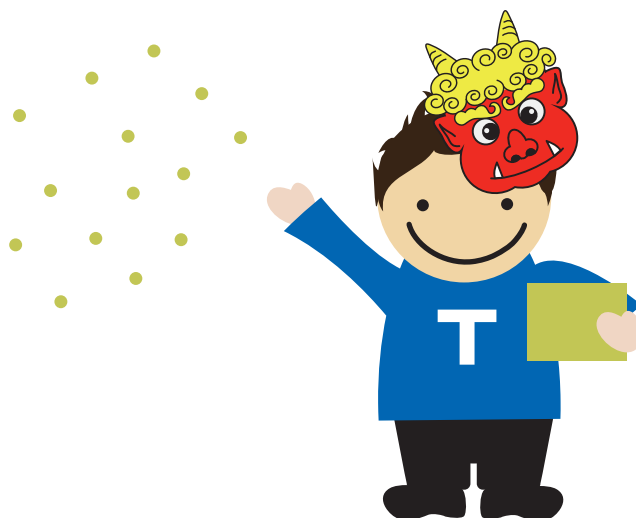
1/3

- ・印刷の時に縮小すると赤ちゃんもペットも使えます。
- ・少し厚めの印刷用紙が適しています。

マメマキ

鬼は外 福は内
パラパラパラ豆の音
鬼はこっそり逃げていく♪

鬼は外 福は内
パラパラパラ豆の音
早くお入り福の神♪



みんなか知ってるこの歌はだれがつくったの？

作詞は日本が誇る絵本作家、童話作家の小和瀬玉三(こわせたまみ)さん

作曲は「遥かな友に」(作詞：磯部俣)1951年、男性合唱曲「ふるさと」(作詞：室生犀星)で有名な日本を代表する作曲家である磯部俣(いそべとし)さんです。